

日本毛織(株) 印南工場

環境保全対策実施報告書

1. 環境保全対策実施状況 (平成20年度)

(1) 大気汚染防止対策

推進の内容	実施の成果
①ボイラの日常点検及び4ヶ月毎に定期点検・調整・排ガス分析を実施しました また、都市ガスを燃料としており硫黄酸化物の排出はありません。	排ガス分析結果から判断して良好な運転ができました。
②高効率変圧器及び省エネ型照明器具の導入を行いました。	平成19年度と比較してエネルギー原単位は3.7%減少、CO ₂ 排出量は5.1%減少しました。
③毎月1回各部門の課長をメンバーとする委員会で省エネの検討と推進を実施しました。	

(2) 水質汚濁防止対策

推進の内容	実施の成果
①排水処理装置の日常点検、定期点検及び測定機器の定期保守を実施しました	排水処理装置の安定した運転及び薬品漏洩防止ができました。
②排水処理装置の薬品配管と添加ポンプを更新しました。	

(3) 騒音、振動防止対策

推進の内容	実施の成果
①協定測定点以外に工場独自で測定点を設定し騒音測定を行いました。	騒音測定結果から判断して良好な状態が維持できました。

(4) 産業廃棄物対策

推進の内容	実施の成果
①生産過程で発生する反物断片等を有価物として売却するようにしました。 (自動車の内装材にリサイクル)	廃棄物量を12%削減できました。
②排水処理装置から発生する汚泥を全量セメント原料にしました。	廃棄物全体のリサイクル率が81%から95%に向上しました。

(5)緑化対策

推進の内容	実施の成果
①樹木・緑地の剪定・除草・害虫駆除を行いました。	環境の維持ができました。
②来客用駐車場のグラスパーキング(芝生)の除草等維持を行いました。	夏場の路面温度が砂利敷きに比べて昼間で12℃、夜間で7℃下がりました。また、外部からの景観も向上しました。

(6)地域連絡会

推進の内容	実施の成果
①平成20年8月と平成21年2月の2回、当工場周辺の町内会長様の参加を得て地域連絡会を行いました。	工場の実態を理解していただき、情報交換ができました。
②「トライやるウィーク」で中学生を4名「インターンシップ」で高校生を2名受け入れました。	地域への貢献ができました。
③「路上違反広告物はがし隊」の活動に参加しました。	景観向上に協力できました。

(7)その他

推進の内容	実施の成果
①環境マネジメントシステム (ISO14001) の外部審査を受け継続して運用しました。	環境改善が継続的に行えました。また、従業員の環境に対する意識向上を図れました。

2. 協定値と実績値の比較

(1) 大気関係

(実績値：最大値または年間総排出量)

項 目		協 定 値	実 績 値
窒素酸化物排出量	(Nm ³ /H)	2.0	0.6
	(t/年)	11.6	3.0

(2) 水質関係

①汚濁負荷量

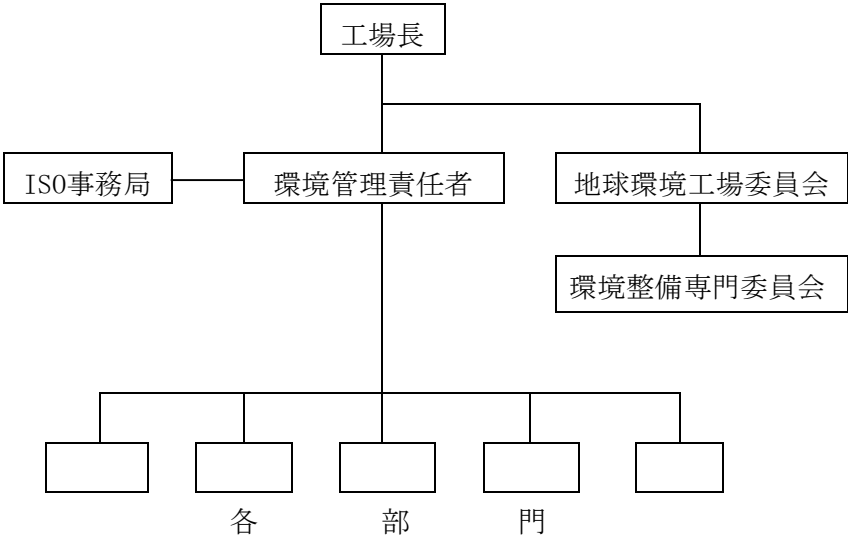
項 目		協 定 値	実 績 値
COD (kg/日)	通常	283	43
	最大	373	51
BOD (kg/日)	通常	452	14
	最大	596	24
S S (kg/日)	通常	283	10
	最大	373	17
ノルマルヘキサン抽出物質 (kg/日)	通常	147	11
	最大	194	23

② 許容限度

項	目	協 定 値	実績値
P H	最小～最大	5.8～8.6	6.6～8.0
C O D (mg/L)	日間平均	25	10
	最 大	35	17
B O D (mg/L)	日間平均	40	3.7
	最 大	55	11
S S (mg/L)	日間平均	25	5
	最 大	50	12
ノルマルヘキサン抽出物質 (mg/L)	日間平均	13	4.0
	最 大	20	11
六価クロム (mg/L)	最 大	0.25	<0.02

3. 環境保全活動

(1) 平成21年度基本方針

項目	内容
基本方針	<p>当社は、『人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループとして、わたしたちは情熱と誇りをもってチャレンジして行きます』を経営理念としており、環境への配慮と高い企業倫理により社会から信頼される企業グループを指向します。</p>
組織体制	 <pre> graph TD A[工場長] --- B[ISO事務局] A --- C[環境管理責任者] A --- D[地球環境工場委員会] C --- B C --- E[環境整備専門委員会] C --- F[各部門] </pre>

(2) 平成21年度環境保全活動計画

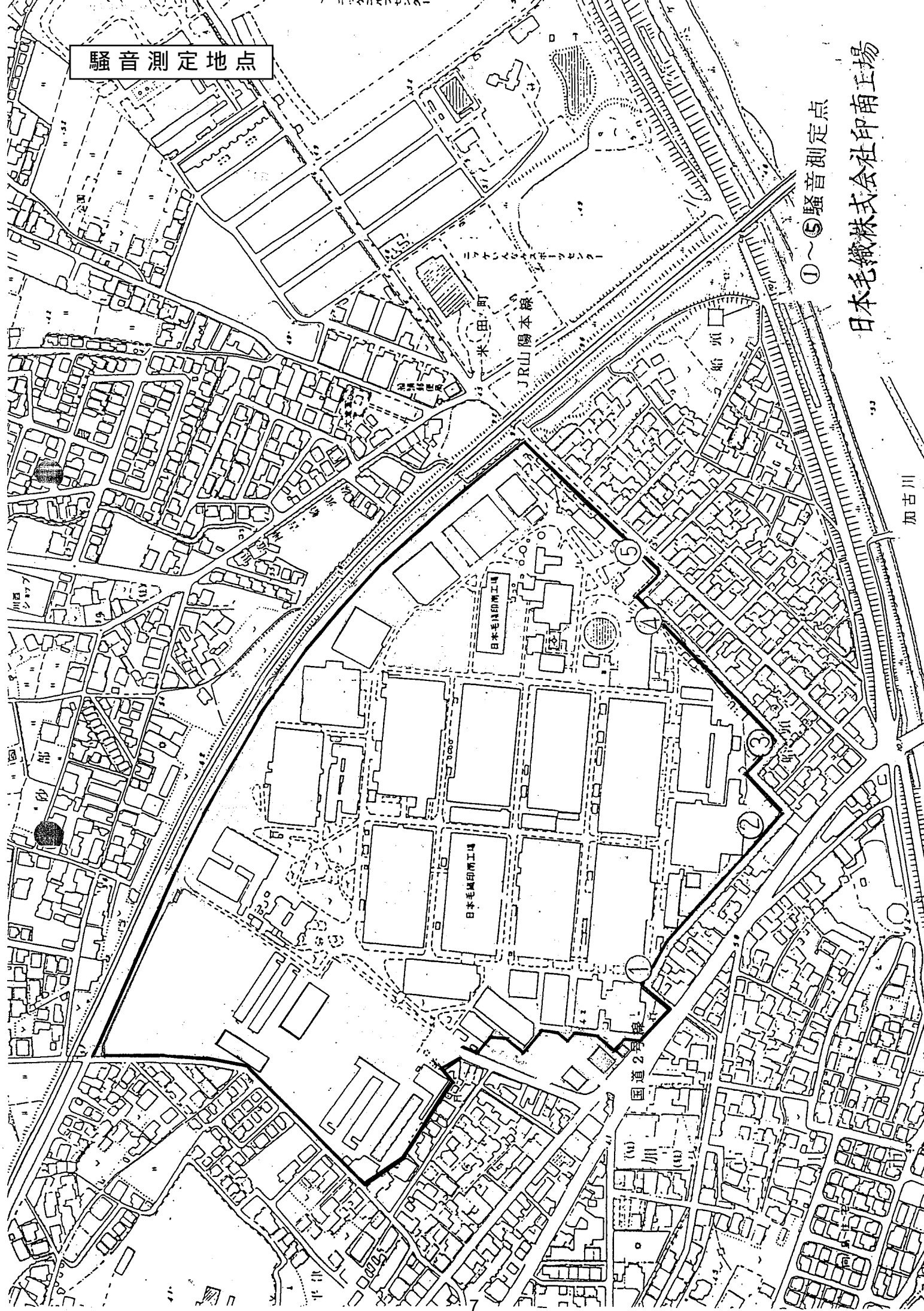
環境保全活動	目標	目標達成のための計画、方策
化学物質対策	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質漏洩の未然防止 ・化学物質使用量の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ①化学物質の保管・在庫管理の適正化 ②施設の維持管理 ③PCB使用機器の適正保管 ④PRTR法に基づく化学物質の排出量、移動量把握
エネルギー対策 (地球温暖化防止対策)	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー原単位を2008年度比3%増加に抑える ・CO2排出量を2008年度比1%削減 	<ul style="list-style-type: none"> ①廃熱回収装置の設置 ②高効率変圧器への取替 ③省エネ蛍光灯への取替 ④スチムトラップの点検整備 ⑤エアー漏れ点検と早期修理

環境保全活動	目標	目標達成のための計画、方策
廃棄物対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物排出量を2008年度比1%削減 ・ リサイクル率を2008年度比3%向上 	<ul style="list-style-type: none"> ①排水処理汚泥のセメント原料化維持 ②廃棄物分別の徹底 ③事務作業のペーパーレス化推進 ④電子マニフェストの導入
緑化対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑地、樹木の維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ①樹木の剪定、除草、害虫駆除の実施
グリーン購入	<ul style="list-style-type: none"> ・ グリーン購入比率を81%以上にする 	<ul style="list-style-type: none"> ①事務用品、機器関係に対するグリーン購入推進 ②再生紙の利用
ISO14001環境マネジメントシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境マネジメントシステムの継続運用 	<ul style="list-style-type: none"> ①環境マネジメントシステムの外部審査を受け、継続運用する
地域社会への参画	<p>地域住民や行政が行う環境保全活動に積極的に参加する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域連絡会を毎年2回開催する ②「トライやるウィーク」で中学生を受け入れる ③路上違反広告除去活動に参加する
環境コミュニケーション	<p>環境情報の公開に努める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①当社の環境報告書の中で当工場の報告を行う

騒音測定地点

①～⑤騒音測定点

日本毛織株式会社印南工場



加古川